

## (3) 人材の確保と質の向上について

## ① 人材の確保

## ア 保育士・保育所支援センター事業

指定保育士養成施設の学生や、保育士・保育所支援センターに登録した潜在保育士などを対象に、保育士就職支援ガイダンスや保育所就職フェアを開催するとともに、潜在保育士の現場復帰支援研修や就職相談、新任保育士の就業継続支援研修、管理者の職場環境改善・トップマネジメント能力の向上等のための研修を実施しました。

## 〔平成27年度実施状況〕

実施事業	内 容
(1) 保育士就職支援ガイダンスの実施	日時:9月20日 9:45~12:00 参加者数:59名
(2) 保育所就職フェアの実施	日時:9月20日(日) 13:00~16:00 参加者数:46名
(3) 潜在保育士復帰支援のための就労相談、就労支援の実施	① 就労相談、就労支援 302件 ② ハローワークでの出張就職相談 72回 ③ 就職等情報提供 5回
(4) 保育士確保等研修の実施	① 潜在保育士現場復帰支援研修 県内3箇所(四日市市、津市、伊勢市)で実施、 1箇所あたり2日間(1日4.5時間) 受講者数:38名 ※上記とは別に、実地研修2日間(現場体験希望者) ② 新任保育士 就業継続支援研修 県内3箇所(四日市市、津市、伊勢市)で実施、 1箇所あたり3日間(1日6時間) 受講者数:202名 ③ 職場環境改善・トップマネジメント能力の向上等研修 県内2箇所(四日市市、津市)で実施、 1箇所あたり3日間(1日6時間) 受講者数:86名
(5)市町との連携	・名張市との連携 「なばり保育士・幼稚園教諭就職フェア」に共催 ・各市町にセンター事業の広報を依頼

[平成28年度取組方向]

実施事業	件数・開催回数・日時等
<p>(1)保育士就職支援 ガイダンスの実施</p> <p>(2)潜在保育士復帰支援のための 就労相談、就労支援の実施</p> <p>(3)保育士確保等研修の実施 ※保育所経営者・管理者を対象 とした研修を実施。平成 28 年度 は各地域の管理者が集まる会議 等のなかで実施。</p> <p>(4)市町との連携</p>	<p>保育士就職支援ガイダンス 日時:平成28年7月18日(月・祝) 会場:三重県社会福祉会館 潜在保育士や保育士をめざす学生を対象に、現場から の実践レポートや就職の心構えの講義を行った。 ※就職フェアは、三重県私立保育連盟が実施する就職ガ イダンスに連携・協力</p> <p>①潜在保育士復帰支援専門相談員の配置 ②保育のおしごと相談会の開催(年44回) ※県内9ヶ所のハローワークと連携 ③情報提供希望者への情報提供</p> <p>①潜在保育士現場復帰支援研修 県内 2 箇所 で 5 回実施、1 箇所あたり 2 日間 実地研修 2 日間(現場体験希望者) 四日市市 ①5月 31 日(火)、6月 14 日(火) ②6月 25 日(土)、7月 9 日(土) 津 ①6月 5 日(日)、6月 12 日(日) ②7月 12 日(火)、7月 19 日(火) ③11 月 15 日(火)、11 月 29 日(火)</p> <p>②新任保育士就業継続支援研修 県内 3 箇所 で実施、1 箇所あたり 3 日間 津 9月 7 日(水)・15 日(木)・27 日(火) 四日市市 9月 16 日(金)・21 日(水)・28 日(水) 伊勢 9月 6 日(火)・20 日(火)・30 日(金)</p> <p>③管理者・経営者マネジメント研修 県内 8 箇所(ブロック単位)で実施 ・四日市市との連携 「潜在保育士職場復帰支援就職セミナー」に共催 ・名張市との連携 「なばり保育士・幼稚園教諭就職フェア」に共催 ・各市町にセンター事業の広報を依頼</p>

## イ 保育士修学資金貸付事業

[平成27年度実施状況]

(保育士修学資金)

1. 目的：保育士の資格の取得をめざす学生に修学資金の貸し付けることにより、保育士の人材確保および定着を図る。
2. 事業の実施主体：社会福祉法人三重県社会福祉協議会（10/10補助）
3. 制度の概要
  - (1) 貸付対象者  
県内の指定保育士養成施設に在学し、県内の保育所等で将来保育士として働く意思があり、経済的理由により修学が困難な者
  - (2) 貸付額 月額5万円以内
  - (3) 貸付期間 最長2年間（指定保育士養成施設に在学する期間）
  - (4) 利子 無利子（連帯保証人が必要）
  - (5) 貸付人数 10人  
各指定養成施設から推薦のあったものの中から、三重県社会福祉協議会の審査により決定した。
  - (6) 返還の免除  
原則として、卒業してから1年以内に保育士登録を行い、県内の保育所等において5年間児童の保護に従事したとき。

〔平成28年度取組方向〕

○保育士修学資金

- ・保育士修学資金貸付については新規の貸付人数を30人に拡大する。  
※平成27年度に貸付を行った者には継続貸付：6人
- ・貸付対象の拡大：県内の指定保育士養成施設の学生から県内限定を削除

○潜在保育士の再就職支援【新規事業】

1. 目的：潜在保育士の再就職のための準備に必要な費用を貸し付けることにより、保育人材の確保を図る。
2. 事業の実施主体：社会福祉法人三重県社会福祉協議会（10/10補助）
3. 制度の概要
  - (1) 貸付対象者  
以下の要件のすべてを満たす者。
    - ・保育士登録後1年以上経過した者
    - ・保育所等の施設（事業）を離職後1年以上経過した又は勤務経験のない者
    - ・保育所等に新たに勤務（週30時間以上）する者
  - (2) 貸付額 20万円以内（1回限り）
  - (3) 利子 無利子（連帯保証人が必要）
  - (4) 貸付人数 10人
  - (5) 返還の免除  
原則として、県内の保育所等において2年間引き続き児童の保護等に従事したとき。

【参考】保育所・認定こども園における人材確保の実施状況

※調査対象 29市町を通じて各施設

- ・保育所数 418所（休所中の12所を含む）
- ・認定こども園数 17園（全ての類型）

※調査結果は別添資料参照

○採用状況

県内の保育所および認定こども園において、年度初めに採用しなかった保育士（保育教諭）数は841人（正規403人、非正規438人）、採用できた保育士（保育教諭）数は683人（正規360人、非正規323人）でした。採用できた保育士（保育教諭）の割合は、正規職員は89.3%、非正規職員は73.7%となりました。

また、年度途中に採用しなかった保育士（保育教諭）数は406人（正規54人、非正規352人）、採用できた保育士（保育教諭）数は314人（正規18人、非正規296人）でした。採用できた保育士（保育教諭）の割合は、正規職員は33.3%、非正規職員は84.1%となりました。

年度初めは、全体的に一定程度確保できているものの、非正規職員の確保が難しく、年度途中は、正規職員を確保することが難しい状況にあることがわかりました。

○在職者数および退職者数

平成27年4月1日現在、県内の保育所および認定こども園に在職する保育士（保育教諭）数は、女性が7,237人、男性が199人、合計7,436人でした。（男性の全体に占める在職者率は2.7%）

性別に退職率をみると、女性では11%、男性では、12.1%となり、男性の方が少し高いという結果になりました。

○人材確保のために相談した機関等

保育士（保育教諭）確保にあたり、435園中259園（59.5%）がハローワークに、87園（20.0%）が保育士・保育所支援センターに、79園（18.1%）が派遣会社に相談していました。その他として、市町広報への掲載や、指定保育士養成施設や個人的な知り合い等への相談などをあげる園がありました。

## ② 質の向上

### ア 幼稚園教諭・保育教諭のための新任研修

#### ・ 公立の幼稚園教諭・保育教諭

公立の幼稚園教諭のための新任研修（園外研修 10 日、園内研修 10 日）については、教育公務員特例法に基づき、県教育委員会において実施しており、公立認定こども園の保育教諭についても、これに参加する形をとりました。

#### ・ 私立の幼稚園教諭・保育教諭

私立の幼稚園教諭や幼稚園から移行した認定こども園の保育教諭のための新任研修については、公立の幼稚園教諭の研修に準じた形で三重県私立幼稚園・認定こども園協会において実施されました。8 日間のうち 4 日間については、県教育委員会との公私合同研修として実施しています。県は、三重県私立幼稚園・認定こども園協会が実施する研修に対して、補助を行い支援しています。

#### ・ 公私の保育士・私立の保育教諭

公私の保育士や保育所から移行した認定こども園の保育教諭のための新任研修の園外研修については、平成 27 年度から保育士・保育所支援センターにおいて、新任保育士の就業継続支援研修（採用から概ね 3 年程度、3 日間）として実施し、参加を働きかけています。

また、市町が園内研修を実施する場合には、国庫補助の対象となるものについて、平成 28 年度から県単の上乗せ補助により支援します。